

# 令和2年度神戸市各会計予算及び関連議案に対する

## 各会派の意見表明

### [自由民主党]

自由民主党神戸市議員団は、令和2年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計50議案について、以下の理由により要望29件を付して承認します。第18号議案に対する附帯決議案については、賛成します。また、「予算第1号議案 令和2年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。

#### 理由

令和2年度予算案は、神戸の「再生」に向けた新たな政策展開に積極的に取り組むものとなっています。これは、人口減少時代に対応するための子育て・教育環境の充実に重点をおきつつ、神戸経済の活性化のための雇用の創出や、福祉・医療・防災などの充実、都心再整備はもとより、地域の発展をめざしたバランスのとれたまちづくりへの取組などが反映されているものであり評価します。

一方、現在発生している新型コロナウイルスへの対応については、市民の健康と暮らしを守るため、感染拡大の防止を第一に、全庁一丸となってあらゆる策を講じ、緊急に必要な補正予算案や関連議案等は早急に上程され、一日も早い終息と日常の回復を願って、我が会派も全面的に協力したいと考えています。

また、これまでの行財政改革により、財政健全化指標は着実に改善しているものの、少子超高齢化の進展に伴う社会保障費の増大は避けられず、将来世代に負担を残さないためにも、最終年次にあたる「神戸市行財政改革2020」の完遂に向けて全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築していくことを期待し、令和2年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

#### 要望事項

現下の新型コロナウイルス対応について、以下5項目を要望いたします。

1. 医師会などの医療機関や関係者に対し、医療用マスクや消毒用アルコール等の安定供給見通しや、感染者への対処方法など国と密接連携し、十分な情報共有を行うこと。
2. 市内の中小企業や飲食店などの事業者に対し、融資制度の要件緩和や市税納付の猶予など個別事情に配慮し、寄り添った姿勢で経済支援に取り組むこと。
3. 市民に対し、相談窓口の周知徹底をはじめ市民が安心できる相談体制や検査機関の強化充実に努めるとともに、拡大防止の観点で正しい情報をプライバシーに配慮し、適切に発信すること。

4. 学童保育施設等一部機関のみに過度な負担をかける状態を長期化させないように、適切な人員配置並びにハード対策を市全体で迅速に行うとともに、緊急時の職員配置や施設対応計画の整備につなげること。
5. 感染拡大防止に万全を期すため、神戸空港及び神戸港における水際対策の一層の強化に努めること。

次に予算案並びに関連議案について、以下 24 項目を要望いたします。

1. 交通局などにおいても、市長部局の現業職員の給与削減にならない、官民格差是正にしっかり取り組むこと。
2. 中央卸売市場業務条例改正については、今後も市場参加者の意見を十分くみ取り、市場運営に反映するよう努めること。
3. 神戸市の宝物である六甲山の有効利用と開発を進めること。
4. 六甲アイランド等において、神戸が発祥の地である女子サッカーの競技大会と各種イベントができるようなスタジアムを建設すること。
5. ルミナリエの賑わいと活性化のため、音楽イベント等の一層の連携を図ること。
6. 神戸の海、山、都市部を活かしたトライアスロン大会の開催を検討すること。
7. 更なる認知症予防のために、軽度認知障害 MCI の方に対する早期治療の予算を組み、充実した「認知症神戸モデル」の構築に取り組むこと。
8. 障害者計画相談の相談支援専門員を増やし、セルフプランによる利用者の割合を引き下げると共に、質を担保し、障害福祉サービスの向上につなげること。
9. 発達障害の早期発見がひきこもり防止につながるので、発達障害を診断できる医師の養成などを国に要望すること。
10. 垂水養護学校・垂水体育館用地における中核的医療施設の配置に際し、歯科口腔外科を設置すること。
11. 神戸市の子供を虐待から守るため、神戸市関係職員は「神戸市こどもを虐待から守る条例」を厳守すること。
12. 待機児童対策と並行して在宅育児への経済支援や、ベビーシッターの利用補助制度の創設を検討すること。
13. ワケトンカレンダーや 3010 運動、いいことぐるぐるなど、市民の環境施策を周知・広報する媒体・ツールを更に拡充し、市民の自発的活動を促すよう取り組むこと。
14. 豊かで美しい瀬戸内海の再生のため、市内処理場の栄養塩管理に積極的に取り組むとともに、藻場や干拓の造成など「里海」づくりに部局の垣根を越えて取り組むこと。
15. 地下鉄海岸線沿線の活性化の一環として、みなと元町駅周辺の賑わいづくりとプロモーションに取り組むこと。
16. リノベーション神戸の防犯灯 LED 化については、私道部分も含めて神戸市全体が明るくなるように実効的な予算措置をすること。

17. 市内に多数現存する老朽化した大型道路標識については、深刻な事故や被害を防ぐため、建て替え更新を加速化させること。
18. 皆森から谷上までの二車線拡幅工事をスピーディーに行い、更なる渋滞緩和策に努めること。
19. 六甲山上の道路整備においては、歩行者・自転車の安全性を確保するとともに、景観にも配慮すること。
20. LRT などの新たな公共交通システムの導入の可能性を引き続き検討すること。
21. 市立小学校における職員間ハラスメント事案の調査報告書の結論を踏まえ、事案が発生した背景・組織的課題を改善させるため、異校種間の人事交流、管理職の再任用、女性管理職の拡充、教職員の外部研修の積極的参加など、風通しの良い人事政策に努めること。
22. 今回の休校園で自宅学習の有効な手段として注目された学習支援ツールについて、学校での利用率を一層高めるように取り組むとともに、国レベルで進める GIGA スクール構想など、いかなる環境下でもオンライン授業が受けられる教育環境を整備するよう努めること。
23. 市バス事業における痛ましい人身事故をはじめ、事故の連発、また国から車両 4 台の停止命令を受けたことを鑑み、安全管理意識の再徹底を図るとともに、お客様サービスマニュアルの整備、お客様満足度の向上、収益力強化のため、更なる合理化を進めるよう努めること。
24. 北神急行の市営化により新設された市バス 62 系統は、北区・北神地域の活性化に大いに寄与することから、既存の 64 系統の利便性を確保しつつ、62 系統の多くのメリットを地域住民に理解を求める努力をすること。

## **【公明党】**

公明党神戸市議員団は、令和 2 年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対して要望 9 件を付し、承認いたします。第 18 号議案に対する附帯決議案については、提出議員の立場から賛成いたします。なお、「予算第 1 号議案 令和 2 年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については反対いたします。

### **理由**

令和 2 年度予算案は、公明党議員団が訴えてきた保育料減免の拡充、学童保育の拡充、中学校給食費の半額、小学校でのフッ化物洗口等のモデル事業の実施、65 歳以上の高齢者のボランティア活動に対してポイント付与制度の創設、北神急行線の市営化などの施策が数多く反映されている点については評価しています。また、市長が本市を見違える街にすべく未来に向かってこれまでにはないビジョンと政策を打ち出し、「スピード感」をもって進めようとしていることに対しても大いに評価しています。

しかし、相次ぐ本市職員の事件や不祥事が本市の目指すビジョンや政策の推進を妨

げていることから、早急に課題解決策を進め、市民の信頼を回復しなければなりません。この点については強力な市長のリーダーシップのもと徹底した取組に期待しています。また、今、緊急の課題は、市内において区役所の職員をはじめ感染が拡大している新型コロナウイルスの脅威に対して、市民、事業者の不安を軽減するための徹底した取組であります。市民が市を信頼し、安心を得るための迅速な様々な対応が必要であり、その積極的な当局の取組に期待し、以下要望事項を付記して、予算案及び関連議案について賛成いたします。

### 要望事項

1. 本市の将来ビジョンを策定するにあたり、SDGs の理念について理解を深め、各局の政策実現を進めるため、市職員に SDGs の研修会等を実施すること。
2. 内水氾濫による浸水想定区域については、年 1 回の内水ハザードマップの更新を公表するまでに該当地域に説明すること。
3. 市直営の防犯カメラの設置場所については、市民の意見を反映させること。
4. 増え続ける子供の虐待の対応を強化するため、こども家庭センターの職員や区役所の保健師等の増員、また、虐待する親に対する支援強化を図ること。
5. 保育士確保を進めるため、市外保育士の子が優先入所できるよう制度を見直すこと。
6. ユニバーサルデザインタクシーの導入促進については、ドライバーの意識向上など事業者への啓発に取り組むこと。
7. 市営住宅の居住者負担の修繕範囲の見直しについて検討すること。
8. 地下鉄海岸線沿線の活性化については、定住人口増を図り民力を高めるため、さらなる沿線地域の住宅整備に努めること。
9. 模擬国連世界大会において、世界中から集う若者に対し、神戸の魅力・情報発信に努めること。

### 【日本維新の会】

日本維新の会神戸市会議員団は、令和 2 年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計 50 議案について、以下の理由により要望 18 件を付して承認いたします。また、予算第 1 号議案令和 2 年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議に関しては、反対いたします。なお、第 18 号議案に対する附帯決議案についても反対します。

### 理由

阪神淡路大震災から 25 年経過した本市においては、復興を最優先にして資本を投下し続けて、ようやく一区切りつくことができました。しかし、その影響で他都市と比較して魅力ある都市づくりが遅れを取ったことは否めませんが、令和 2 年度予算では、思い切った投資的経費の増加により、ハードの整備で魅力あるまちづくりに舵を

きり，人口減少社会を見据えた，全区的な魅力あるまちづくりを進めていく予算編成は一定の評価をいたします。

しかしながらソフト面である，教育・福祉・子育てなどの経営的経費は借金により，将来世代へ負担を付け回しするわけにはいきません。そのためには社会情勢の変化に伴い，積極的な事務事業の見直しを行い，民間投資も呼び込むという発想で，限りある中からの財源を生み出し，経営的経費を絞り出さなくてはなりません。選択と集中により，安全安心，そして健康的な，都市の持続的な成長を実現させることが必要であります。

今予算では，子育てしたい街，学びたい街，働きたい街，住み続けたい街として選ばれるよう，新たな政策展開にも挑戦し，子育て・教育施策を重点的に強化していることなどから，期待の持てる予算であると考えられるため，令和2年度各会計予算案ならびに関連議案を承認します。

### 要望事項

1. ひとり親世帯の支援を拡充，義務教育期間のこども医療費無料化の早期実現に努めること。
2. 中学校給食においては，親子方式・保温カート・保温食缶などを早急に導入し，温かい給食を提供し，全員喫食できるように取り組むこと。
3. 教育委員会の組織ガバナンス機能強化においては，学校園現場，地区統括官，監理室の連携強化に努め，学校園からの通報・相談を適切に処理すること。また，スクールカウンセラーやスクールロイヤーをさらに拡充し，生徒や保護者等からの相談体制を充実すること。
4. 小学校・中学校の全校に生徒指導専門教員を配置し，生徒指導専門教員同士の情報交換や警察や児童相談所と連携し，学校現場での問題に取り組むこと。
5. 大阪・関西万博やIRに備え，期待されるインバウンド需要を本市でも取り込めるよう，海上アクセス等の効果的な施策の実現に積極的に取り組むこと。
6. 落ち込みが予測されるクルーズ客船入港に関しては，今後積極的な誘致を行うこと。また，クルーズ船客の市内観光・滞在を促す施策に取り組み，民間企業等と連携し経済波及効果を高めること。
7. 商店街の活性化や，空き店舗問題など地域商業活性化支援事業・拡大に取り組むこと。
8. 空き地・空き家対策については，老朽化マンション対策や，空き家予備軍に対しても，早期の問題意識の働きかけを行うこと。
9. 三宮再整備，行政施設移転については，民間活力を利用し協働して進めること。また，交通施策，景観施策，区役所・ホール等施設配置には市民意見を十分に考慮し慎重に検討，告知に努めること。
10. 更なる地域交通コミュニティの移動支援の仕組み作りに取り組むこと。また，バス路線に関しては，市民ニーズに合った路線に見直し，再編を行うこと。

11. 都市公園は、Park-PFI 方式を積極的に取り入れた再整備や、保育園の設置場所も視野に入れた活用に取り組むこと。
12. 須磨多聞線西須磨工区着工については、地元自治会との合意を得ること。
13. 児童虐待の予防・早期発見・保護など、更なる取り組み強化を行うこと。また、こども家庭センターの夜間窓口受入れ体制を見直すこと。
14. 市役所業務の更なる効率化・市民サービスの向上のため、タブレット端末の更なる活用と文書保存・管理の効率化、テレワークやペーパーレス化、RPA などの ICT 活用をさらに推進すること。
15. 市営住宅第 3 次マネジメント計画作成においては、駅・主要バス停周辺居住区域内に集約できるよう、PFI 事業で再編計画を立てること。また、県営住宅との二重行政解消のため取り組むこと。
16. 食品ロス削減に向け、アクションメニューやフードシェアリングなどを活用し、一層取り組むこと。
17. 新型コロナウイルスに関しては、市民生活への影響を最小限にとどめるよう、感染症訪問指導員や感染症対策連絡会を早急に稼働すること。また、市内経済の落ち込みを最小限にとどめるよう経済支援対策に取り組むこと。
18. 感染症や自然災害に備え、マスク、消毒液等の災害備蓄の充実を図ること。

## **[日本共産党]**

令和 2 年度神戸市各会計予算案について、予算第 1 号議案、予算第 4 号議案、予算第 10 号議案、予算第 15 号議案について、必要な編成替えを行うことを求める動議を提出しており、この動議に賛成いたします。

予算第 3 号議案、予算第 5 号議案から予算第 7 号議案、予算第 12 号議案、予算第 19 号議案の 6 議案並びに予算関連議案のうち第 4 号議案、第 7 号議案から第 10 号議案、第 12 号議案、第 15 号議案、第 17 号議案、第 19 号議案から 25 号議案、第 27 号議案、第 29 号議案から第 31 号議案の 19 議案、合計 25 議案については賛成します。

予算第 2 号議案、予算第 8 号議案、予算第 9 号議案、予算第 11 号議案、予算第 13 号議案、予算第 14 号議案、予算第 16 号議案から予算第 18 号議案の 9 議案並びに予算関連議案のうち第 1 号議案から第 3 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案、第 11 号議案、第 13 号議案、第 14 号議案、第 16 号議案、第 18 号議案、第 26 号議案、第 28 号議案の 12 議案、合計 21 議案については反対します。

また、予算編成替え動議が否決された場合、予算第 1 号議案、予算第 4 号議案、予算第 10 号議案、予算第 15 号議案の 4 議案には反対します。

第 18 号議案に対する附帯決議案については、賛成します。

## **理由**

第 1 の理由は、都心・駅前再開発に前のめりで地域切り捨てになっている予算案だ

からです。

神戸市は 2018 年に人口減少数が全国一位になりました。久元市長は「人口減少対策は不十分であった」と認めましたが、予算案はマンション誘致中心の駅前再開発です。駅前タワーマンションを作っても近隣住民の移転が大半です。局所的に、保育所・学校施設の不足をおこしており、とても人口減少対策とはいえないものです。その一方で、「市バス配置基準」を設定し、市バスの減便・廃止をすすめて、郊外地域を切り捨てなど許されません。

第 2 の理由は、震災後 25 年、陸・海・空におよぶ不要不急のインフラ整備を継続・拡大する予算案だからです。

震災後、神戸空港建設や医療産業都市など、大型開発と企業誘致をすすめれば神戸はよくなるとしてきました。その結果は、人口減少日本一です。その反省もなく、予算案では、国際コンテナ戦略港湾に 91 億円、大阪湾岸道路に 65 億円、空港連絡橋の架け替えに 10 億円など大型開発に偏重しています。また、医療産業都市や企業誘致に 60 億円など、従来路線の継続・拡大では、神戸の経済はよくなりません。

第 3 の理由は、市民のための公共施設の削減、統廃合を強行する予算案だからです。

都心や駅前の再整備は、公共施設「削減」や「民間開放」とセットで進められています。三宮再開発では、勤労会館、生田文化会館、葺合文化センターが一か所に集約されます。駅前再開発では、住民合意なく市有地を不動産ディベロッパーに差し出します。垂水にあった 2 つの体育館・体育室も、不便な場所へ統合されようとしています。また、市民が長年愛着をもってきた須磨海浜水族園は、産経グループのリゾート開発事業として売り渡され、入園料は大幅値上げをされようとしています。

第 4 の理由は、消費税増税と新型コロナウイルス感染症の深刻な影響が出ているにも関わらず、市民の暮らしを切り捨て、中小企業対策を弱める予算案だからです。

高すぎる国民健康保険料や介護保険料に加え、敬老無料乗車券の廃止、バス近郊区上限の撤廃、母子福祉パスの廃止など、弱者を切り捨てようとしています。認知症に対応するとして年間 3 億円もの住民税増税に続き、下水道料金値上げで、年間 10 億円の負担増が押し付けられようとしています。中小企業対策費も、独自の融資制度がなくなり予算案は 28 億円まで縮減されています。緊急に求められているのは減税と直接支援です。

第 5 の理由は、市長が公約実現に背を向け、子育て・教育の充実が置き去りにされた予算案だからです。

子供の医療費助成は、市長の公約であった「無料化」「高校生への拡大」はいずれも見送られています。また、高校学区の拡大で通学費負担が増えるなか、市長は「市内在住の高校生の通学費助成」の公約をかかげましたが、予算案では、ひとり親世帯の通学定期購入補助にとどまり、母子福祉パスを廃止するなど、逆行しています。

第 6 の理由は、阪神淡路大震災は「100%復興」という市長の誤った認識をもとに、被災者を苦しめ続ける予算案だからです。

災害援護資金の少額返済者は、市が委託した弁護士が全額返済をもとめています。

新長田再開発事業では高い共益費に今も被災商店主が苦しんでいます。市長は被災者である借上住宅入居者を、法廷に立たせ追い出しを迫るなか、入居者からの「市長への手紙」すら読んでいません。被災者の苦難に寄り添い、最後の一人まで被災者を救うべきです。

第7の理由は、震災以降、職員定数削減路線を継続している予算案だからです。

教育委員会事務局職員が自死する痛ましい事件が occurred。須磨区の小学校の問題発覚後も抜本的な人員増がなされず、この職員の残業時間は過労死ラインを上回っていました。職員削減で長時間過密労働が、あらゆる職場に広がっており、職員の命と健康は危機にさらされています。こども家庭センターでの女児の追い返し問題では、休日夜間の窓口業務をわずか年670万円で委託し、有償ボランティア対応となったもとで起きた事件です。子供の命を守る最前線まで、職員コストを抑えるため、民間に丸投げしている状況は放置できません。

第8の理由は、市長のトップダウン体制が強化され、ますます市民の声を聞かない市役所となる予算案だからです。

「市民生活」や「市民参画を推進する」市民参画推進局を廃止し、ジェンダー平等の世界の流れと逆行するように「男女活躍勤労課」が廃止されます。また、名谷駅前の図書館整備は、住民不在のまま教育委員会の決定権を無視して、市長のトップダウンで提案されました。教育委員会から市長部局への移管によって、図書館・博物館の政治的中立性の確保があやぶまれています。

日本共産党神戸市会議員団が提案した予算の編成替えを求める動議は、市長提案の予算から不要不急の大型開発や、都心・三宮再開発を中止すること、医療産業都市や企業誘致・優遇税制の行き過ぎた支援の経費を削減すること、また市民合意のない須磨多聞線推進、須磨水族園民営化などを中止し、市民サービスの削減などでため込んだ財政調整基金などを活用し、市債発行を圧縮しながら財源をつくり出しています。その財源を活用することで新型コロナウイルス感染症と消費税増税から市民の暮らしと生業を守り、市民参加と住民に寄り添う市役所への改革をすすめる、被災者に寄り添い防災と気候危機対策を抜本的に強めることで、市民が安心して住み続けられる神戸に転換し、ひいては税源の涵養に資する神戸の強みを生かした経済政策を提案していることを申し添えておきます。

## 【こうべ市民連合】

こうべ市民連合議員団は、令和2年度当初予算案並びに関連議案合計50議案について、要望20件を付して原案の通り承認いたします。ただし、第18号議案については、予算特別委員会に提出された附帯決議案のと通りの附帯決議を付して承認します。

また「予算第1号議案 令和2年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議には、原案を承認するため反対いたします。

## 理由

阪神淡路大震災から25年が過ぎた今、これからの神戸のまちは、これまで以上にスピード感をもって、三宮再整備をはじめとした各駅周辺エリアのリノベーションを順次進めることで、まちの活性化とにぎわいづくり、選ばれるまちとなるための投資を進めます。それと共に、経済活動の基盤となる道路・港湾・空港等のインフラ整備も必要です。

また、ハード面の整備を進める一方で、少子高齢・人口減少による活力を補うため、人に手厚く投資する予算も、私たち会派では要望してきました。

子育て支援を初め、障がい者・ひとり親家庭・在住外国人への支援、子供たちの学校での学びを保障する環境整備の予算を確保するなど、未来志向の予算編成となりました。

久元市長の掲げる「神戸を見違えるような街へ」という想いは、まちづくりだけでなく、人にやさしいまちであり、今住んでいる市民も神戸で暮らす未来の市民にとっても、安心して暮らせるまちを目指しています。

この目指す方向と、重点課題として挙げられた《6つの柱》に沿って、令和2年度の施策が実現されることに大きな期待を寄せ、予算案並びに関連議案を承認いたします。

## 要望事項

1. 国際交流のさらなる推進を図るため、迎賓館を整備されたい。
2. 市営化となる地下鉄北神線の利用促進を図り、北区・北神地区の活性化と働く場の確保に向けたまちづくりに取り組まされたい。
3. 産学官民の連携を強化し、海洋産業の振興を図られたい。
4. 横浜市等と連携しながら、特別自治市実現に向けた取組を強化されたい。
5. 将来費用の縮減を図るとともに財政計画へ反映する観点から、神戸市公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」を確実に策定されたい。
6. 保健師については、相談支援業務等さらなる取組が必要であるため、十分な職員配置をされたい。
7. 精神障がい者の家族支援のため、メリデン方式を取り入れる等さらなる取組を強化されたい。
8. 環境保健研究所の十分な検査体制と人員体制に取り組まされたい。
9. 児童虐待防止への警察との連携強化のため、電子データの共有や、情報共有システムを構築する等取り組まされたい。
10. 食品ロス削減とフードドライブのさらなる周知と普及拡大に取り組まされたい。
11. 神戸夜市の開催については、官民一体となって積極的に取り組まされたい。
12. 若年世代への市内企業就職促進のため職業体験フェア等に取り組まされたい。
13. 市内で就職する学生の奨学金返還支援策を拡充されたい。
14. まちの安心安全を確保するためにも私道における街灯の拡充を図られたい。

15. 親・子世帯の近居住み替え助成の距離要件をさらに緩和されたい。
16. ウォーターフロント整備については、神戸のシンボルとなる施設を設置されたい。
17. 水の科学博物館では親子で楽しめるコンテンツをさらに充実されたい。
18. 市バス運転士及び整備士の人材確保と育成に努められたい。
19. 今後新設される図書館においては、課題解決型図書館や障がい者に配慮した図書館となるよう検討されたい。
20. 教員の多忙化解消に向けてスクール・サポート・スタッフを全校配置されたい。

## [つなぐ]

つなぐ神戸市議員団は、令和2年度神戸市各会計予算のうち、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第9号議案、予算第13号議案、予算第14号議案、予算第16号議案、予算第17号議案、以上、予算7議案及び、予算関連議案のうち、第5号議案、第14号議案、第18号議案、以上、関連議案3議案、合計10議案について、下記の理由から反対します。

なお、第18号議案について、原案が可決された場合には、「第18号議案に対する附帯決議案」に賛成します。

また、「予算第1号議案 令和2年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、評価できるものも多いが、いくつかの項目で考え方などに違いがあるため反対します。また、その他の議案については賛成いたします。

## 理由

反対する主な理由は次の通りです。

1. 組織改正案で、「市民参画推進局」が解体され、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた「ひとり一人の市民が主役のまち」「協働と参画のまちづくり」のシンボルである局がなくなり、その理念や業務が継承されない恐れがあるため。
2. 今後の財政収支見通しで2026年度には292億円もの累積赤字が見込まれ、さらに来年度以降も三宮再整備にともなう投資的経費が増加する見込みの中、来年度予算審議過程で示されるはずだった三宮再整備全体の財政収支見通しや財源が明らかにされていない。これは二元代表制のもとで議会を軽視するものであり、市民や議会に説明責任を果たそうとする姿勢が見られないため。
3. 東須磨小学校における職員間ハラスメント事案に関し調査報告書が出され、加害教員などへの処分が行われたが、非常に場当たりの対応に終始している。今必要なのは、現場職員のモチベーションが上がるような対策を、現場職員とともに考える体制を作ることが重要である。一方、「監理室」の設置や「地区統括官」の任命などでの組織風土見直しがされようとしているが、現場職員が統治強化と受け止めてしまう懸念があるため。
4. 須磨水族園の指定管理者が4月から新事業者に変更され、須磨水族園再整備事

業が展開されていくが、シャチの飼育やショー開催、入園料金など、かねてから指摘されてきた問題点について、市民に十分な説明がないまま再整備事業を進め、Park-PFI方式という開発手法で市民の財産を奪おうとするため。

5. 敬老・福祉パスの見直しで、市民意見募集のほとんどが制度見直しに反対であったにもかかわらず、また交通事業者に協力を呼びかけることもせず、「敬老優待乗車証のバス近郊区における110円上限の廃止」「敬老優待乗車制度の敬老無料乗車券の廃止」「福祉乗車証の母子世帯の福祉パス廃止」を行い、小さい声を抑え込み、社会的弱者の社会参加と移動支援を困難にするため。
6. 非公開だった「政策会議」が公開されたが、先進的な他都市に比べると、公開範囲や内容が非常に不十分なものとなっており、今後も公開範囲拡大などの検討の姿勢が全く見られないため。
7. 借り上げ住宅の継続入居を求め続けている震災被災者世帯に、話し合いでの決着を目指さず、部屋の明渡しと期限後の賃料相当額の損害賠償を求め提訴し、被災者の生活を支え、安心して暮らせる解決策を取ろうとしないため。
8. 須磨多聞線の整備について、市長は公害調停という公的な調整機関に出席しないばかりか、過去の中央幹線整備の際の、自治会との合意を無視して工事を強行しようとしていることは、住民自治をないがしろにしていると言わざるを得ないため。

## **[共創・国民民主]**

共創・国民民主神戸市議員団は、令和2年度各会計予算案及び関連議案、合計50件を以下の理由により、要望12件を付して、承認します。また、予算第1号議案等の編成替えを求める動議については反対します。また、第18号議案に対する附帯決議については、提出者の一員であり、賛成します。

### **理由**

令和2年度の神戸市一般会計において、市単独の投資的経費においては、20年ぶりの高水準となったことは、これまで厳しい財政運営に努めてきた結果ということと、神戸市の未来へつながる転換点として受け止め、高く評価します。

しかしながら、今後も扶助費の増加の影響による義務的経費の増大が神戸市財政にとり大きな負担増となることが考えられます。よって、当局におかれては、引き続き行財政改革の手綱を緩めることなく、市政の運営に努めることを要望します。

真に若者を含めて多くの世代から選ばれ、かつ愛されるまち、誇りを持てるまちを目指し、神戸市がより一層飛躍するように積極的な施策展開を行うと同時に総合的な福祉施策の充実を期待いたします。

なお、昨年度に続く度重なる不祥事に関し、教職員のコンプライアンス及びハラスメントに対する認識を厳しく律するとともに、組織運営の厳格化に努めるよう強く要

望します。

### 要望事項

1. コンプライアンスの徹底及びハラスメント対策に努め、市政の健全化を図ること。
2. 補助対象で設置した約 2,500 台の防犯カメラについては、直営 2,000 台のカメラの設置と並行して、一元管理（ネットワーク化）可能か検証して取り組むこと。
3. コロナウイルスについては、感染拡大防止の観点から情報公開の徹底（感染者の感染経路等）を図り、自らが濃厚接触者となっているか否かの知る権利・必要性を担保すること。
4. 台風を始め大規模災害に起因する停電対策を、全市的に取り組むこと。
5. 農業公園の再整備にあたっては、食都神戸の生産拠点にふさわしい活力のある機能と、市民に親しまれる施設に留意して取り組むこと。
6. 摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立を図ること。
7. 市営住宅第 3 次マネジメント計画の中で、具体的な計画を打ち出すことになっている押部谷及び栄の住宅に関しては、ドラスティックな統廃合を進めるとともに、新たに生まれる遊休地の活用については、今後 30 年先を見据えた取組となるよう留意すること。
8. 敬老優待乗車制度については、制度全般についての見直しの効果等を検証し、真に高齢市民の理解が得られるよう努めること。
9. 社会的養護体制については、児童養護施設の専門性を活かしながら、ファミリーホームや里親への委託率の向上に努めること。
10. 新港西地区ウォーターフロントの再開発にあたっては、回遊性の向上を視野に特に 1, 2 突堤間の水域の基部周辺の埋め立てによる利活用を検討すること。
11. 各種スポーツの国際大会の更なる誘致に向けて、体制強化を図るとともに、スポーツ施設の戦略的な更新及び整備に努めること。
12. 六甲アイランド高等学校での転落に関する事案の原因に配慮しながらも、今後起こりうるいじめへの対応は被害者に寄り添いながら、加害者への指導をおろそかにしないこと。

### 〔平野（章）委員〕

令和 2 年度神戸市各会計予算案並びに関連議案合計 50 議案について、以下の理由により承認します。

ただし、第 18 号議案については、予算特別委員会に提出された附帯決議案のとおり、附帯決議を付して承認します。

また「予算第 1 号議案令和 2 年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については反対します。

## 理由

令和2年度神戸市予算案審議中に、神戸市営地下鉄西神・山手線と阪急神戸線との相互乗り入れ構想が、投資に見合う効果が見込めず検討終了という衝撃的な、いや、予想されたともいえる協議結果が発表され、西神そごう撤退ショックの冷めやらぬ最中にありました。

この問題の対策として以前から西神・山手線を阪急に売却し、阪急沿線になったそごうも含め、阪急ブランドを生かした再整備協議をすべきと申し上げてきましたが残念であります。

一方、三宮再整備構想の重要拠点となる阪急三宮駅、JR三ノ宮駅建て替えも神戸市は連携できておらず、さらに、人口減少対策を放置しておきながら、ここへきて慌てたかのように昨年の補正予算で人口減少対策第一弾、街を明るくとの名目で街灯予算30億ほど計上したが、行財政局が積み上げ予算の裏づけ説明できないほど、政策に一貫性が見えないのであります。

後に人口減少対策第二弾として、市西部の駅前整備に乗り出したが、本来なら第一弾として打ち出す内容でしょう。

しかも、数年かけての駅前整備で5,000人の人口増を表明したのですが、神戸市の人口減少スピードから、この人口増計画分は1～2年で失われるでしょう。

また、以前に打ち出した新神戸から神戸駅まで292haの民間用地を住宅規制し、商業・業務ビルを強制的に条件づける条例で縛ったのです。一瞬にして私有地に規制をかけるなら、それに対する財政支援を抱き合わせ提案すべきと申し上げてきました。

ここでやっと固定資産税減免などの支援策に気付いたようでしたが、全体構想がなくドタバタの中での一貫性なき政策が続いています。

この将来見通しのない政策の問題点は何だろうと考えた時、答えは簡単であります。福岡市のように民間主導の街づくりに神戸市が規制緩和などで、協力するように切り替えれば、魅力ある街づくりの事業化が進むでしょう。

そして今、学力向上施策も手つかずで、問題事案対策一辺倒の神戸市教育委員会、議会も報道機関も正確に教育現場を把握できていない状況で個人攻撃することばかりに集中し、前向きな教育施策が打ち出せていない状況から冷静さを求めたい。

一方、神戸医療産業都市として企画調整局と保健福祉局との連携が動かせたことで、高度な専門医療機関との相談窓口、開発などにおいて臨床研究と治験などができる病院機能～リサーチホスピタル、つまり臨床研究中核病院の整備が進んだことで企業が根付くことになり、ヘルスケア分野も打ち出したことで、介護産業においても企画調整局と保健福祉局との連携窓口を早期につくることで、同じように産業化へつないでいくべきでしょう。

このように前向きな施策も見えだしてきたことで、少しだけ期待を込めて、令和2年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認することにします。

## **【松本（し）委員】**

令和2年度神戸市各会計予算並びに関連議案、合計50議案について、要望7件を付して以下の理由により承認いたします。ただし、第18号議案については予算特別委員会に提出された附帯決議のとおり附帯決議を付して承認します。また、令和2年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議については、原案を承認するため反対をします。

### **理由**

令和2年度予算は、少子高齢化による人口減少社会に対応できる神戸市にするため全世代・全地域が活躍できるまちづくりをめざして策定された基本方針として子育て・教育施策など「6つの柱」での取組と共に、市民所得の向上を目指し、みなと神戸の経済成長対策を一層推進されることに期待し、令和2年度神戸市当初予算並びに関連議案を承認いたします。

### **要望事項**

1. 今般の武漢発症の新型コロナウイルス対策に神戸市民の安全のため全庁あげて万全を期すよう要望します。
2. 神戸港の国際戦略港湾施策については、引き続き強力な集貨・創貨に国の支援策と併せて阪神港のコンテナ移動をスムーズにするためにも、内航フィーダー網の充実強化を図るためにも海上輸送・はしけ輸送について積極的に支援強化を図られたい。
3. 須磨海岸エリアの景観政策については、デザイン都市神戸にふさわしい景観を実現するため、既存の基準を見直し、ゾーン方針についてもビーチリゾートゾーンに変更されたい。
4. 三宮・神戸空港間アクセスについては、今後の規制緩和並びに大阪万博等による観光客増加を見据えた計画的な輸送力強化案を早期に作成されインバウンド対策に取り組まれたい。
5. 消防音楽隊の人員拡大と共に神戸女子大学消防団員による楽器演奏者にも参加協力を要請し、消防音楽隊と各大学との連携も視野に防災教育並びに地域防災活性化に取り組まれるよう検討されたい。
6. 外国人介護人材の需要が高まっている中で、市営住宅の空き住居を介護福祉人材の社宅として活用され高く評価されています。今後一層の社宅活用を推進されたい。
7. 食ビジネスの企業支援としてのキッチンカー事業については、神戸の特徴を活か

した国際色豊かな食文化の発信も視野に幅広い出店場所を選択し、街の活性化につながるよう取り組まれない。

## 〔上原委員〕

令和2年度神戸市各会計予算及び関連議案合計50件を下記の理由及び要望13件を付して、認定並びに承認いたします。

第18号議案に対する附帯決議案は、賛成します。

また、予算第1号議案令和2年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議については反対します。

### 理由

令和2年度予算は、見違えるような街へのリノベーション、子育て・教育施策の重点的強化として、昨年度に続いて投資的経費が拡大されました。特に北神急行市営化に伴い運賃負担が軽減されること、鈴蘭台・西鈴蘭台・北鈴蘭台駅前の空間が整備されることは北区住民の利便性が高まることと有難く思います。また、中学校給食の保護者負担を半額に引き下げるとは、全員喫食につながり、子供達のバランスの良い栄養摂取に役立つことを期待しております。しかし、こども家庭センターでの追い返し事案、教育現場のハラスメント等、課題は山積しております。また、行財政改革としてもさらにできることがあるとの観点から、以下要望します。

### 要望事項

1. 新型コロナウイルスの影響で減収となった市内企業等を最大限支援すること。
2. 教員も含めた市職員の心身健全に配慮し、神戸市クレドが遂行できる環境整備に取り組むこと。
3. いじめやDV・虐待を未然に防ぐことと、いじめ被害者が転校しなくても良い解決に努めること。
4. 他都市に負けない有効な観光施策を実施すること。
5. 民間委託に伴い、新たな業務を付け足すのではなく、公務員でしかできない業務という観点から定数を見直し、必要に応じ削減をすること。
6. 温かく美味しい中学校給食になる様、早期改善すること。
7. 敬老・福祉パスを、これ以上市民負担を増やすことなく継続すること。
8. 赤字事業の黒字化に努め、市民負担を増やさないこと。
9. 北区にイノシシ牧場を併設したジビエ処理加工施設をつくり、雇用創出による農村部への若者の移住を促進すること。
10. 市バス62系統新設に伴い、これ以上の64系統減便をしないこと。
11. 市民の役に立たない外郭団体は、整理すること。
12. こども家庭センターの業務が全うに遂行できる様、体制を早期改善すること。

13. 民間活力を活かした経費節減，効率化を一層推進すること。

## **[村上委員]**

令和2年度神戸市各会計予算案及び関連議案について，下記の理由及び要望事項4件を付して承認いたします。また第18号議案に対する附帯決議案については賛成し，予算第1号議案等の編成替えを求める動議については原案を承認するため反対いたします。

### **理由**

令和2年度各会計予算案は，合計約1兆8600億円となり，その内訳は本市が目指す「若者に選ばれるまち」に近づくための積極的な施策が多数盛り込まれていることから，令和2年度各会計予算案及び関連議案について承認いたします。

### **要望事項**

1. 神戸港の国際競争力強化のため，さらに投資を加速させていくとともに，将来的な港湾の在り方についてさらなる研究を重ね，時代を先取りした港湾整備に取り組むこと。
2. 地下鉄海岸線の経営改善にむけての工夫を沿線地域や外部の意見も取り入れつつ，視野を広げてさらに検討，実施していくこと。
3. 緊急時の市民への情報共有体制を局横断的に再検討し，既存のアプリやSNSの活用をさらに進めること。
4. 身近な公園の使用ルールについては当該地域の子供たちの意見を直接聞く機会を設けること。